

学

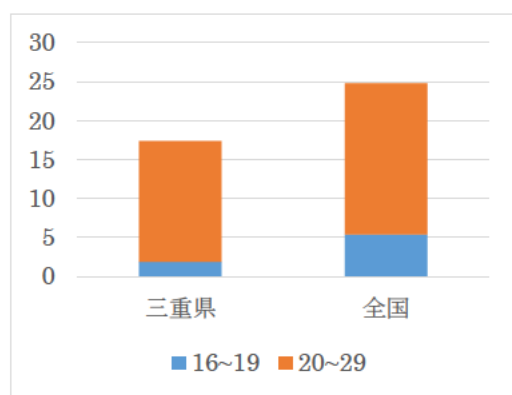
学生献血推進は、全国で行われている取り組みで、赤十字の血液事業を支えている活動のひとつです。その活動の中心は学生ボランティアであり、各種あるボランティアの中でも特殊な部類のボランティアのひとつであります。学生ボランティアの特徴のひとつとして、学生ならではの、学生からなら通用する企画というものがあります。全国ではそのようなさまざまなアイデアを持ち、さまざまな活動を通して赤十字や医療、そして地域や地域住民との結びつきが行われています。

我々三重県学生献血推進連盟（みえっち）では、三重県在住の学生が学生献血推進にかかわる機会を多くするために、定例会や大きなキャンペーン献血などで活躍をしています。学校としては三重県内外学校から40名ほどの参加者が連盟に加入しています。メンバーは常に募集中で、学生であるならば大学専門学校（例外としてヤングミドナの中でも意識の高い生徒やヤングミドナに加盟していない学校生徒のいる高校生）にかかわらず加入していただけます。

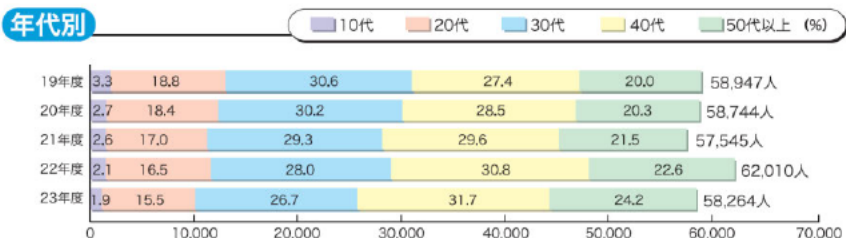


活

活動の背景は、三重県の10代～20代の若年層と呼ばれる18～29歳の献血者率が三重県は全国最下位であり、みえっち発足前に活動をしていた三重県立看護大学献血推進サークル「さくらんぼ」と、三重大学献血推進サークル「ヴァンパイア」のメンバーだけでは活動の場所が限られること、三重県は人口が拡散しており、若年層の密度も分散されているため、2学校だけのアプローチでは献血者へのアピールが不十分であること、三重県内での活動時に、その地元の学校の人たちが参加できるように工夫をするために三重県内での活動協力ができるような団体が必要であるとかねてより考えられてきていました。そんなある日、三重県立看護大学で開かれた、三重の現場・すごいやんかトークにおいて鈴木英敬知事とさくらんぼメンバーの柴山らが対談を行い、そのすごいやんかトークの中で三重県の現状を伝え、全国では各県にひとつは学生献血推進団体があるものの、三重県では存在しないことを訴えました。



献血者の推移



ぼ」と、三重大学献血推進サークル「ヴァンパイア」のメンバーだけでは活動の場所が限られること、三重県は人口が拡散しており、若年層の密度も分散されているため、2学校だけのアプローチでは献血者へのアピールが不十分であること、三重県内での活動時に、その地元の学校の人たちが参加できるように工夫をするために三重県内での活動協力ができるような団体が必要であるとかねてより考えられてきていました。そんなある日、三重県立看護大学で開かれた、三重の現場・すごいやんかトークにおいて鈴木英敬知事とさくらんぼメンバーの柴山らが対談を行い、そのすごいやんかトークの中で三重県の現状を伝え、全国では各県にひとつは学生献血推進団体があるものの、三重県では存在しないことを訴えました。

鈴木知事は早急に対応しなければということで、支援を約束していただきました。

三重県赤十字血液センターやさくらんぼ、ヴァンパイアの2グループの活動はメンバーの少なさもあり、少数精鋭的な活動が中心でした。三重県内を活動の中心とすることはつまり、大規模な活動ができるという半面で、そのメンバーを集めるための募集活動を大きくしなければならず、これまでの少数精鋭の活動のような募集活動では不十分でした。そこに、学校側や県も加わり、募集活動はスタートし、次年度の入学生をターゲットに本格的募集を行いました。

目 的はどのような活動をするかを決めます。
我々みえっちは、三重県下の献血推進を行いたいと考えている学生が活動をしやすいようにするため、情報提供・活動場所・活動企画をおこなうことを大きな目的として設立しました。

若年層への呼びかけ

県内学生どうしの交流

各地での活動の拠点

構

構成メンバーは、1月現在44名。三重県立看護大学・三重大学・鈴鹿医療科学大学・皇学館大学・三重短期大学・岐阜薬科大学・愛知淑徳大学・中京大学・暁学園・セントヨゼフ女子学園・近畿大学工業高等学校・鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校・四日市看護大学の13学校が参加中。



実

績としては、以下の通り。

平成25年2月23日

連盟の設立

6月8日 近鉄四日市駅 周辺



私たちの活動はいつもならスーパーなどで限られていました。

そこで、駅前に飛び出してやってみようということに。四日市駅前の「サンセリテ」に呼び込みをして、こゝなら体重制限なども軽く、呼び込み効果が上がると考えて、実施しました。

私たちが初の試みだったため、楽しみながら行うことができたとおもいます。

いいね!・コメントする・シェア

3月9日



3月9日にはみえっちのデビューイベントのスタ☆フェスが開催されました。

同時に献血も開催し、さらに県立看護大学の簡単な健康診断を受けられる健康ブースも併設しました。鈴木知事にもご出席いただき、スタートを飾りました。献血は健康でなければ行えず、誰かを救うには健康である必要があることも同時に訴えることができました

いいね!・コメントする・シェア

7月6日 三重県津市 赤十字血液センター



この日は、七夕の直前ということもあり、七夕の飾りを血液センターに行いました。高校生のヤングミドナサポーターたちが集まり、お手伝いをしてくださったため、私たちが指示を出して、どんな飾り付けにするかを一緒に決めて献血者のみなさんが目を楽しませていただけるようにしました。

[いいね!](#) [コメントする](#) [シェア](#)

8月18日 三重県鈴鹿市 ベルシティ



サマキャン2日目！
サマキャンは全5会場、3日程を行い、学生は5会場全てに行きました。人数がとても足りなかったため不足している人数は三重大学応援団さんに行っていました

ココに写っている彼は、鈴鹿医療科学大学のメンバーなんです。暑い中ご苦労様でした。このように、地元の学校の人たちが参加しやすくなりました。ちなみにこの日の成果はいつもより少なめだったのでそこが反省点でもあります。

[いいね!](#) [コメントする](#) [シェア](#)

11月3日 三重大学

学祭献血！ In Mie Univ.

学祭におじゃまして、献血の呼び込みをさせていただくイベントも行いました。三重大だけでなく、四日市大学、鈴鹿医療、三重中央看護などでも行い、学生さんやお客さんたちにご協力いただき



7月15日 三重県伊勢市 ララパーク伊勢



夏に入りました！

私たちは毎年夏にサマー献血キャンペーンというものを行っています。今回もそのサマキャンで、会場がララパーク伊勢で行いました。実は呼び込みのために伊勢に来ることはほとんど初なので緊張。出入りを覚えるのも難しく、うまく呼び込みができたか心配でしたが、似顔絵のイベントもあり、楽しく行えました！

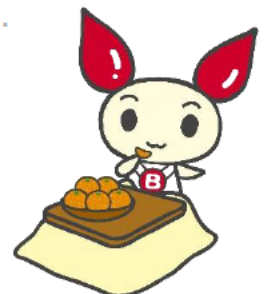
[いいね!](#) [コメントする](#) [シェア](#)

9月7日 三重県四日市 ふれあい広場周辺



第2回目の四日市駅前での呼び込みです。このときは四日市の近くの暁学園の学生さんも加わり、ティッシュ配りや呼び込みなどを行い、多くの人が献血に応じてくれました。暑い中だったので休憩などもシッカリ取ってもらい、熱中症を出さなかったのがよかった点でもあります。

[いいね!](#) [コメントする](#) [シェア](#)



ました。コレとは別に学内献血も行っています。



[いいね!](#) [コメントする](#) [シェア](#)

12月22日 三重県津市 イオンモール津城山



クリスマス献血キャンペーンの2日目。サンタの衣装を着て、クリスマスのイメージをもって献血の呼び込みを行いました。では、メッセージを添えたクリスマスの飾りつけを行ってもらうことにしました。



[いいね!](#) [コメントする](#) [シェア](#)

12月15日 三重県員弁郡 イオンモール東員



私たちはクリスマスに近づく時期に、クリスマス献血キャンペーンを行っています。これはその第一日目。できたばかりのイオンモール東員で今後ここでも献血活動を行うためにも、クリスマス献血キャンペーンを行って、どれくらい集まるかなどを検討することに。

コレよりもおおきなイベントを予定していますが、献血のイベントも初だったので、お客さんたちもよく集まっていたと、献血ちゃんも活躍することができました。演奏をしているのは三重大学体育会応援団のみなさんです。

[いいね!](#) [コメントする](#) [シェア](#)

1月5日 三重県津市 イオン津店
はたちの献血

[いいね!](#) [コメントする](#) [シェア](#)



GTF

今

後の予定

私たちの今後の予定には、今年度最も大きなイベントのキッズ献血があります。これはイオンモール東員で行うもので、イオンモール東員初のイベントともなります。このイベントは、イオンモール東員周辺の幼稚園、小学校に声をかけて献血の模擬体験を行ってもらうというイベントです。献血のイメージは輸血での薬害や、注射があるということで悪いイメージばかりが先行しています。献血の大切さ



や、今後のためにもこのようなイベントを行い、献血のイメージアップを図り、なおかつ子供たちにも献血をはじめとした医療に触れて、人の役に立つすばらしさを体験・経験していただこうと考えています。

今後の予定

3月2日	定例会
3月20日	キッズ献血 最終準備
3月21日	キッズ献血
4月19日	勉強会
4月22日	MCN 学内献血
4月26日	新人歓迎 BBQ

また、私たちの活動について、自分たちのためにも献血の勉強会を開きます。献血呼び込みのデモンストレーションや、献血の大切さ、使われ方などを勉強していきます。4月始まってすぐに学内献血も予定しており、三重県立看護大学（MCN）の予定を真っ先に入れました。4月26日は新人歓迎のためのバーベキューを予定しています。場所は未定ですが、集合場所は津駅ミスト前に10時です（ココ重要）

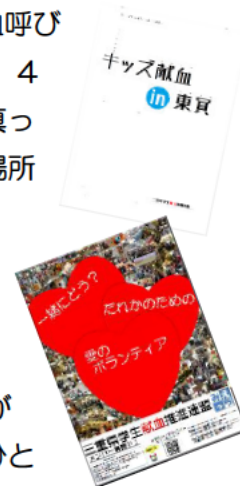
このように、次年度に向けての行事などを企画しています。

私たちの今後の課題は、三重県学生献血推進連盟を今後も持続発展させていくことです。三重県を巻き込んでの大きな活動であるため、学生の参加・学生の活動が



主体となります。そのためには学生の力が必要となってきます。地域医療の根幹のひとつでもある献血活動。この活動を支えるという重要性をいかに伝えるか、いかにして現在の大学生の献血意識を高めていくかが重要な焦点となると考えています。

また、大学生のアプローチだけでなく、キッズ献血のように献血可能年齢未満の小学生・幼稚園での献血体験 or 献血って何?といったイベントを企画し、将来献血がどんなことか・なんの役に立つのかをなんとなくでも理解してもらいたいと考えています。中学校、高等学校の人たちにも、私たちが行ける範囲で赤十字が主催している学校での献血セミナーについていき、みえっちのアピールと学生が行える献血推進についてを話したり、献血の大切さを学生らしく話したりしたいと考えてもいます。



地域とのかかわりは、献血推進の中で最も重要な場面となります。

- ・各大学との連携
- ・スーパーでの献血
- ・各地のライオンズさんとの連携
- ・県保健所や四日市市保健所との連携
- ・学校との連携
- ・献血者さんとの交流



私たちの活動はこの6つが主な地域とのかかわりです。献血はそもそも特殊なボランティアであり事業です。その献血を支えるボランティアですので、かかわりは多方面にわたります。そのほかにも「けんけつちゃん」（きぐるみ）との記念撮影で親子のライフイベントとしたり、地域振興のためにも地元企業の製品を粗品としたりしています。

最後となりましたが、先ほども述べたとおり、私たちの活動は、学生主体となっています。血液センターや学校、三重県保健所、三重県などが私たちのサポートをしていますが、あくまで運営主体は学生なのです。興味のある方は是非ご参加ください。献血ができなくても献血の呼び込みは行えます。誰かの命を救う助けをするボランティアなのです。

